

# 各国森林・環境概況

各国の森林・環境と文化

日時：平成24年9月1日（土） 10:00～15:00

講師：田中 隆文（あいち海上の森大学コーディネーター）

## 概況



受講者の環境活動紹介や、各国の環境課題・取組に対する考えを発表。

### ①A 氏

「ちば千年の森をつくる会」活動

自然観察を中心とする NPO 法人を始めて約 10 年経つ。異なる人達で一つの柱を持って活動することが大切。

### ②K1 氏

カナダ 6 階建木造集合住宅の事例（木材利用法）

安価で高品質な（構造材、防火性能）木材を建物に使用した例を紹介。

### ③S1 氏

海上の森の活動について

NPO 法人「海上の森の会」として海上の森で活動。県の委託事業を受けて里の田を再生する行事「里の教室」を実施。

### ④K2 氏

中国の環境問題について

急激な経済成長とともにエネルギー不足という問題があり、森林の占める割合が低い(13.39%)。合理的で継続性ある開発が最も重要。

⑤S2 氏

M1 氏

タイでの人工降雨プロジェクトの事例

近年、経済発展のため森林破壊が著しい。その結果、雨の降り方が変化。王様が国民の食糧事情を考え、雨を人工的に降らせるプロジェクトを考えた。

⑥P 氏

ベトナムの森林状況について

ベトナムには豊かな森林(国土 43%にあたる 1430 万 ha)があったが、1995 年までに戦争や産業開発等で半減。2008 年までに植林等で 1310ha まで回復。主な要因は 3 つ。①農地転換(森林をコーヒー栽培等に利用)、②大規模インフラ整備(水力発電・道路建設)③不法伐採。

⑦U 氏

「環境教育・市民活動について～同窓会の地域との関わり方～」

目標:海上の森大学で学んだことを社会でどう活かすか。大学 OB 会の活動紹介、他の団体との連携、情報交換や勉強等を行う。

⑧O 氏

「定光寺自然観察会」の取組事例

今は昆虫少年が少ない。子供達に「自然が大切だ」という思いを伝えたい。「自然保護は自然観察から始まる」という思いで日々活動。

⑨M2 氏

「21 世紀の日本の農業を考える」

田舎では農業をする人が少なく畑が荒れる。一方、都会では高齢者に時間がある。仲間とともにボランティアで田舎を手伝いに行っている。

⑩Y 氏

「夢は見るものじゃない、叶えるもの」

インディアン・ヴィレッジ・キャンプ活動紹介。荒れた山を買取りに行っている。活動目的は「ひとづくり・まちづくり」。未来の子供たちに何ができるか考える。